

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名【新】再造林地におけるシカ捕獲支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 整備係 電話番号：058-272-1111 (内4385)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,300 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,300	0	0	0	0	0	3,300	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

シカ密度が高い地域では、防護柵等の防御手法のみでは、再造林地におけるシカ食害を防止するのが困難な状況。また、防護柵等の施設整備が困難な積雪地では忌避剤散布による対策を実施しているが、シカ密度の高まりに伴いシカ食害を防止するのが困難な状況。

しかし、アクセスが悪く捕獲効率が悪い(見回りに労力がかかる等)こともあり、再造林地におけるシカ捕獲は、ほとんど実施されていない。

(2) 事業内容

再造林地におけるニホンジカによる食害を防止するため、林業事業体等のわな捕獲体制構築やわな捕獲関連施設等整備、スマート捕獲技術等導入費用に対し助成することにより、再造林地におけるシカ捕獲を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ①わな捕獲体制整備支援、②わな捕獲関連施設等整備支援
10/10以内、上限：①と②の合計1,000千円以内
③スマート捕獲技術等導入支援
1/2以内、上限：200千円以内

(4) 類似事業の有無

林業事業体ICT技術等導入支援事業費補助金（木材生産性の向上等が目的）
野生鳥獣個体数管理事業費補助金（県単・清流の国ぎふ森林環境基金）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	104	外部講師報償費
旅費	70	外部講師旅費、事業打合せ等旅費
需用費	14	消耗品費
役務費	1	
補助金	3,111	
合計	3,300	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ア) 激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化

(2) 国・他県の状況

森林整備事業費補助金のうち、被害森林整備の森林保全再生整備（鳥獣の誘引捕獲とそれに必要な施設の整備等）

鳥取県先進的シカ捕獲システム導入実践事業（先進的なシカ捕獲システムの導入補助）

三重県森林再生力強化対策事業（市町によるICT等技術を用いた捕獲のモデル事業）

(3) 後年度の財政負担

継続的な実施が必要

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：再造林地を管理し、シカ捕獲を実行する森林組合、森林所有者等

妥当性：再造林地におけるニホンジカ食害の防止が目的のため妥当

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	再造林地におけるシカ捕獲支援事業費補助金
補助事業者（団体）	再造林地を管理し、シカ捕獲を実行する森林組合、森林所有者等 (理由) 再造林地におけるニホンジカ食害の防止が目的のため
補助事業の概要	(目的) 再造林地におけるニホンジカによる食害を防止 (内容) 再造林地におけるシカ捕獲を推進するため、林業事業体等のわな捕獲体制構築やわな捕獲関連施設等整備、スマート捕獲技術等導入費用に対し助成
補助率・補助単価等	定率 (内容) ①わな捕獲体制整備、②わな捕獲関連施設等整備： 10／10以内、上限：①と②の合計1,000千円以内 ③スマート捕獲技術等導入支援 1／2以内、上限：200千円以内 (理由) 類似事業に準ずる
補助効果	野生動物による森林所有者の経済的損失及び林業経営意欲の低下防止、枯損による森林の荒廃防止
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 早期に、再造林地を管理する森林組合、森林所有者等のシカ捕獲体制等を整備するため

(事業目標)

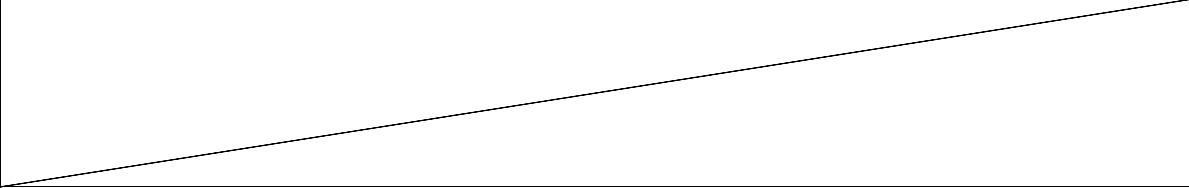
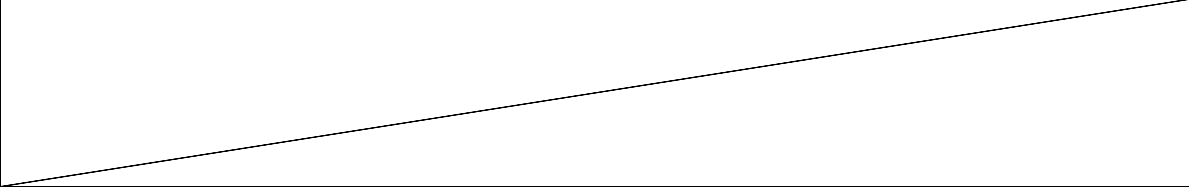
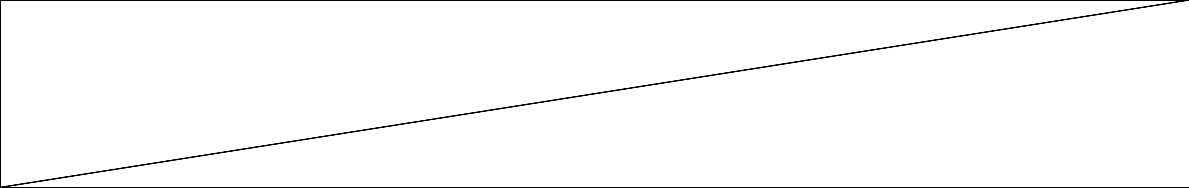
・終期までに何をどのような状態にしたいのか 県下各圏域の林業事業体等において、再造林地におけるニホンジカ食害を防止するためのわな捕獲体制が構築されている。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

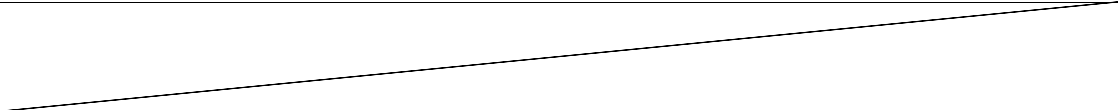
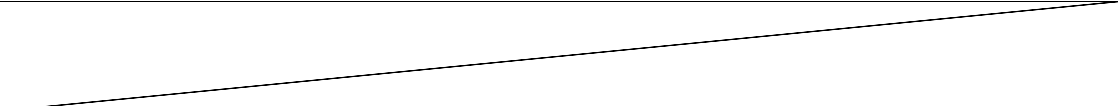
指標名	事業開始前 (R7)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①再造林地におけるシカ捕獲対策者の存する圏域数	2	2	3	4	5	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	ニホンジカの生息密度の上昇や生息区域の拡大により、ニホンジカによる再造林地の食害被害区域が拡大している。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)</p> <p>2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)</p> <p>1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%)</p> <p>0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
